

日本労働組合総

連合会

加盟組合員 約686万人
産業別組織 51
地方連合会 47

一体、ここは原発についてどう考えているのか？

2015年7月～2017年6月

政策・制度 要求と提言

連合として取り組むべき政策
を中心にまとめたもの

(参考資料①)

基本的考え方

参考資料①
p.55

原子力エネルギーに代わるエネルギー源の確保、再生可能エネルギーの積極推進および省エネの推進を前提として、**中長期的**に原子力エネルギーに対する**依存度を低減**していき、最終的には原子力エネルギーに依存しない社会をめざしていく必要がある。

要求1

短期的に安定的なエネルギー供給をはかるための政策を推進する。

(1) 既存発電設備の有効活用によるエネルギー供給の増大をはかる。

③ 定期点検等で停止中の原子力発電所を**再稼働**する際には、**安全性の強化・確認を国の責任において行う**ことと、周辺自治体を含めた地元**住民の合意と国民の理解**を得ることを前提とする。

④ (前略) 停止中原子力発電所の再稼働については、国民生活や産業・雇用に与える影響などを勘案し、**国が責任を持って判断**する。

参考資料

① 連合HP 連合の政策・制度 要求と提言／重点政策

https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/seisaku_jitsugen/teigen.html

② 電機連合HP コラム「ありのままに正直に」2011年10月『新たなエネルギー源確保まで原発と向き合うことが必要』

<https://www.jeiu.or.jp/arino/show/2014091700003.html>

③ 産経新聞HP 2016.10.20 22:25 「連合・神津里季生会長、民進・連舩代表の応援「火に油を注ぐようなものだった」 対応を批判」

<http://www.sankei.com/politics/news/161020/plf1610200036-n1.html>

要求2

中長期的に原子力エネルギーに対する依存度を低減し、最終的には原子力エネルギーに依存しない社会をめざすための政策を推進する。

(1) 国は、以下の基本的方向性および各種エネルギーの位置づけを踏まえ、原子力エネルギーに代わるエネルギー源を確保する。

<原子力エネルギーの位置づけ>

⑧ (前略) 原子力エネルギーに対する依存度は、再生可能エネルギーや化石エネルギーなどによる**代替エネルギー源の確保を前提**として、**中長期的に低減**させていく。

⑨ **既存の原子力発電所**については、(中略) 代替エネルギー源が確保されるまでの間、**活用**していく。
なお、**建設中の原子力発電所**については、停止中原子力発電所の再稼働に関わる考え方(1.(1)3~4参照)に**準じて対応**する。

⑩ (前略) 代替エネルギー源の確保、原子力技術の革新、使用済燃料の貯蔵・処分状況などを勘案して**国が新增設等について責任を持って判断**し、**最終的には原子力エネルギーに依存しない社会を目指して**いく。

な—んか、既存、建設中、新增設、全部ありに見えるんですが。。。

2011年10月にあった連合第12回定期大会における当時の古賀会長挨拶
「原子力エネルギーに代わるエネルギー源の確保、再生可能エネルギーの積極推進及び省エネの推進を前提として、中長期的に原子力エネルギーに対する依存度を低減していき、最終的には原子力エネルギーに依存しない社会を目指していく必要があると考えます。」
これ、今回紹介した『基本的考え方』と同じ内容ですが、この挨拶について、電機連合 有野正治 中央執行委員長 (当時) のコラム。。。

(参考資料②)

原発依存度を将来的に下げていくという考え方を提起していることはその通りですが、
原発に代わるエネルギー源を確保するには相当な時間と費用がかかることになり、時間軸は読めません。その間は現実として原子力発電と向き合うことがどうしても必要です。

ハハア、なるほど、「依存度低減」は言ってるだけで、実際には期限なしで原発を使い続けると。。。
これじゃあ、安倍政権と全く同じ。
ついでに新潟県知事選挙後の 神津里季生 連合会長の発言も産経新聞web版から引用しておきます。

(参考資料③)

国の原子力規制委員会で安全が確認され、地元住民の同意があるものは再稼働すべきだというのが基本的な流れ

共産党が次期衆院選で野党共闘する際に、
原発政策を共通政策に盛り込もうとしていることについて

政策協定は政策全般にわたって同じような方向性がなければ成り立たない

はあ、だめだこりゃ。。。